

前回協議会(H30.6開催)における指摘事項等

指摘事項	回 答
住友大阪セメントのバイオマス混焼は、実際にはどのくらいの出力がバイオマス分になっているのか。	<ul style="list-style-type: none">・認定を受けている発電出力は、122,500kWだが、バイオマス比率を考慮した出力が20,205kWになっている。実際のバイオマスによる発電量は公開しておらず、把握できなかった。住友大阪セメントによれば、バイオマスの受入量は、14.5万トン程度で、建設廃材と未利用材では、未利用材のほうが多くなっている。・今年の4月から、認定されたバイオマス比率の1.2倍を超える部分はFIT制度によらないで売電されることが決まっており、制度が変わることに伴って現状に合わせた修正申請をする予定とのこと。・修正申請が受理されれば、資源エネルギー庁のホームページに公表されるデータに発電出力として反映されるため、それを待ってビジョンの進捗にも反映する。
新エネビジョンの評価指標である木質バイオマスの利用量(トン)が資料にない。	資料4に整理。